

都議会自民党ビルメン政策研究会。財務局と意見交換会を開催

東京ビル政連は令和2年11月25日、都議会議事堂において開催された、東京都議会自由民主党ビルメン・テナンス業振興政策研究会・東京都財務局との意見交換会に出席、改めて東京都への要望を強く訴えて理解と実現を求めた。

都議会自民党ビルメン政策研究会からは、高島なおき顧問、宇田川聡史会長、吉原修副会長、山崎一輝幹事長、鈴木章浩幹事、崎山知尚幹事、小宮あんり事務局長が出席。

高島顧問は冒頭、「今日は、先般の予算要望のヒアリングを含めて、意見交換をさせていただきました。ありがとうございます」と挨拶。梶山龍誠理事長は、「年末でお忙しい中、またコロナ禍にもかかわらず、時間調整をしてくださる、誠にありがとうございます」と謝辞を述べた後、「本日は、先日提出した要望内容を中心に、実りのある意見交換会となれば幸いです」

と期待を述べた。

要望内容は横田英雄幹事長が改めて説明。「1番目は総合評価制度の拡充です。政策的評価項目については、ISO関係、エコチューニング等を加点要素とすることをお願いしています。J.Vでの入札参加に関しては、『事業協同組合方式でよいではないか』というのが財務局の見解ですが、我々としては人手不足などの中で抱い手を養成していく意味あいも含めて、J.Vでの入札参加をご検討いただきたい」と要望。契約内容の履行確保と入札参加資格の審査については、「不正を防ぐために、工事計審のように決算報告書と共に確定申告書の写し、契約実績も、特に清掃・設備・警備に関して売上の半分以上の契約書の写しを出させることを要望します。また、入札金額の根拠となる積算資料として、直接人件費、法定

福利費、直接物品費、業務管理費、一般管理費等の内訳の提出を求めていただきたい。社会保険等の加入に関しては、加入状況についての資料を求めるときであるかと思えます」と述べて理解を求めた。障害者雇用の促進については、「各社とも、ものすごく苦勞しながら障害者雇用の確保に取り組んでおります。雇用率増に依りて段階的に加点する仕組みを更に検討していただきたい」と要請。

新型コロナウイルス感染対策については、取り組みの現状などを詳しく説明して支援策の拡充を訴えた。

横田幹事長の要望説明の後、宇田川会長は、「先月末、都議会財政委員会で質疑をやらせていただきました。一つは最低制限価格の導入、二つは積算における委託の労務単価の考え方、それからJ.Vの在り方、もう一つは仕様書

に組み込まれた新しい障害者雇用モデル事業について質問させていただきました。それを含めて、お答えをお願いしたい」と財務局職員に回答を求めた。

財務局職員は、「まず、総合評価の指標として、エコチューニングやセキュリティに関するものなどを取り入れるべきと、ご提案いただいております。総合評価は、価格と技術力を見るという基本的な考え方があり、特に技術力を見るのが一番のポイントです。そのほか政策的な評価として、環境問題、女性活躍、障害者活躍に取り組んでいるなど、東京都が進める政

策への寄与は加点要素として見ております。ただ、総合評価は、まず技術力を見るのがポイントなので、加点要素をいろいろ入れ過ぎると、本来の趣旨から外れてしまします。一定の枠の中で政策的な評価を見ていかなければなりません。バランスを見ながら総合評価の指標を入れていきたい」と説明。

J.Vでの入札参加については、「分離、分割で発注するのが基本だと考えています。J.Vを組まなければ参加できないような単位での発注をしない。例えば警備、清掃、設備管理などを一括ではなく、分割して発注を行っており

これを継続してやっていきたい」と基本的な考えを示した。このほか、履行確保の確認、積算の根拠資料の確認、社会保険の加入状況の確認、障害者雇用の資格審査における評価、新型コロナウイルス感染対策について説明が行われた。この後、具体例を挙げながら更に踏み込んだ意見を交換。最後に吉原副会長が、「これまでにも幾度となくこうした協議を進めてきたが、成果がないと意味がありません。引き続き財務局職員の皆さんと協議を進め、良い報告ができるような環境を作っていきたい」と述べて締め括った。



都議会自民党ビルメン業振興政策研究会の皆様



意見を述べる高島顧問

財務局職員に回答を求める宇田川会長



東京都財務局の皆様



理事会の様子

第117回理事会 評議員会の招集、 事業・決算報告を審議

東京ビル政連は2月2日、初のWeb会議として第117回理事会を開催し、「第15回評議員会の招集」と「令和2年事業報告」「同決算・監査報告」について審議した。各詳細は1面、2面の通りである。

第118回理事会 都議選・衆院選の 基本方針を審議

東京ビル政連は4月6日、ビルメンテナンソ会館で第118回理事会を開催し、「令和3年東京都議会議員選挙」および「令和3年衆議院議員選挙」の基本方針と、「令和3・4年度評議員選考委員会設置」について審議した。

東京ビル政連の動き

- 令和3年2月4月の動き
- 〔2月2日〕 第117回理事会
- 〔2月25日〕 第15回評議員会
- 〔4月6日〕 第118回理事会
- 〔4月9日〕 第10回平フォーラム

令和3年 東京都議会議員選挙 重点支援候補者決定!

4月6日に開催した第118回理事会において、令和3年東京都議会議員選挙における、当政連の重点支援候補者を決定した。

重点支援候補者は、東京都議会自由民主党ビルメンテナンソ業界への理解が深く、日頃から業界要望にご協力いただいている。

 宇田川聡史 (56歳) 江戸川区 現4期	 山崎一輝 (48歳) 江東区 現3期	 崎山知尚 (55歳) 荒川区 前2期	 高島直樹 (70歳) 足立区 現5期	 小宮あんり (44歳) 杉並区 現3期	 鈴木章浩 (58歳) 大田区 現4期
--	--	--	--	---	--